

5/11木

# 「チーム甘利」大学ファンド私物化か

判されています。

岸田氏の名前も

記事で甘利氏はまだ、橋

雄首相、林芳正外相、世耕  
弘成元経産相、茂木敏充幹  
事長の名前を挙げ、「みんな  
チーム甘利だ」とも語って  
います。

岸田政権が成長戦略の柱と位置づける10兆円の大学ファンドにかかわって、自民党の甘利明衆院議員・前幹事長に連なる「チーム甘利」の問題が急浮上しています。4月27日の衆院文部科学委員会で調査を迫った日本共産党的富本岳志議員に、末松信介文科相はまと

もに答弁できなくなり、同委員会への報告を求められる事態となっています。

五神氏「一緒に」

富本氏が取り上げたのは、「主な大学をテーマとした雑誌『文部科学教育通信』

2019年11月11日号の「国立大学は『知識産業体の自覚を』と題した甘利氏のインタビュー記事です。

としています。

五神氏は、実際に東大総長となり、「運営から経営へ」というキャッチフレーズのもとに国立大学初の大手債(200億円)を発行しました。こうした姿勢は

復帰後、政府の総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)の議員だった橋本和仁氏から、後に東大総長となる五神真氏を「この人を東大総長にしたいと思っている」「甘利大臣の人を東大総長にしたい」と紹介されたと証言。甘利氏が「あなたが総長になつたら、私についてきてくれますか」と聞くと、五神氏が「その節には一緒にやります」と応じた

ことになります。

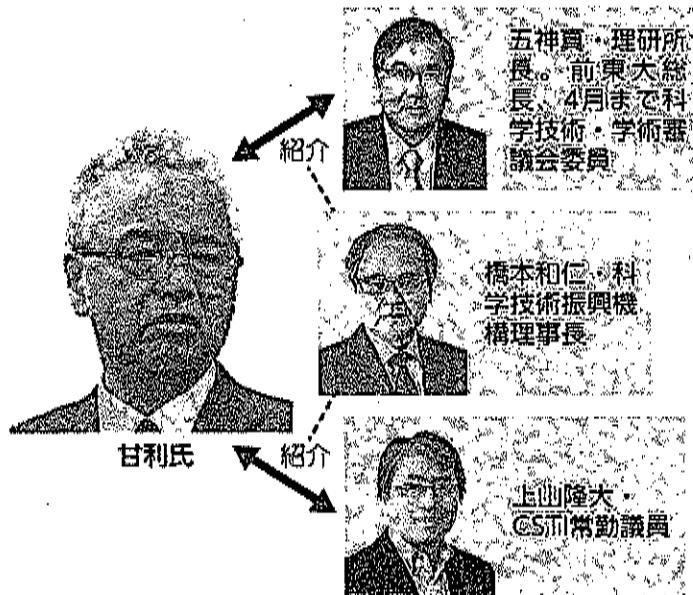
「『運営から経営へ』などといふ国の方針を鷲鵰(おうむ)返しに唱えることが果たして『自己だよりか』(駒込武氏編『私物化される国公立大学』)と批

本氏がCSTIの事務局長役として上山隆大政策研究大学院大学副学長(当時)を推薦し、甘利氏が電話で説得したことも明かしています。さらに現在の岸田文

五神真・理研所長、前東大総長、4月まで学術審議会委員

橋本和仁・科学技術振興機構理事長

上山隆大・CSTI常勤議員

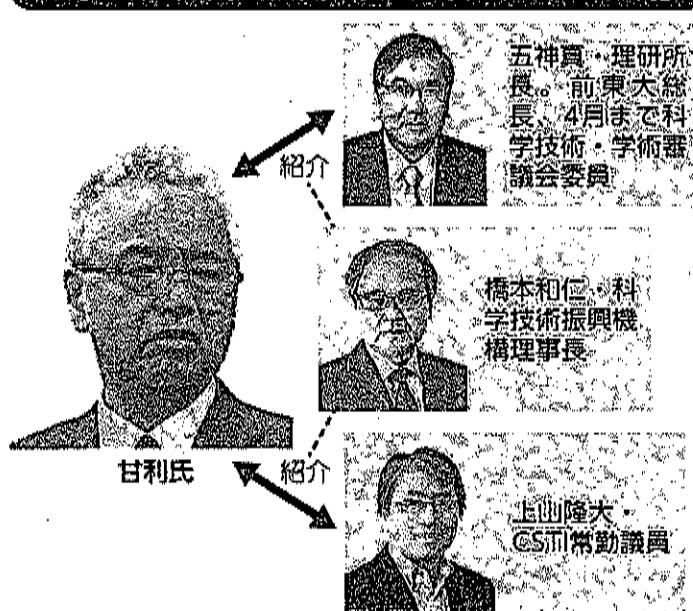


現在国会で審議中の国際

越研究大学法案は、大学ファンドをてこに大学への政治介入をいっそう強める中身です。その大学ファンドにかかる組織の要職を「チーム甘利」が占め、大学行政の「私物化」により、政策決定と大学の運営に政治介入した疑いがもたれています。徹底した調査と報告が法務審議の大前提です。

## 関係組織の要職占める 徹底調査と報告必要

大学ファンド関連組織の要職に就く「チーム甘利」



五神真・理研所長、前東大総長、4月まで学術審議会委員

橋本和仁・科学技術振興機構理事長

上山隆大・CSTI常勤議員